

札幌市SLA通信

発行 札幌市学校図書館協議会

会長 木村 佳子

事務局長 横道 幸紀

文責 情報部

<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/sapporo/>

◆『第44回札幌市学校図書館協議会研究大会』を開催しました！

<公開授業について>

令和3年12月13日(月)に、コロナ禍によって昨年度は実施できなかった「第44回札幌市学校図書館協議会研究大会」を開催しました。前半は札幌市立手稲中央小学校4年3組担任の山田千裕教諭による「POPで本を紹介しよう」の公開授業でした。授業参観はできなかったものの、授業の様子を映した動画や生徒が記入したワークシート、そして実際に作られたPOPを提示しながら、授業者が成果と課題について講演しました。



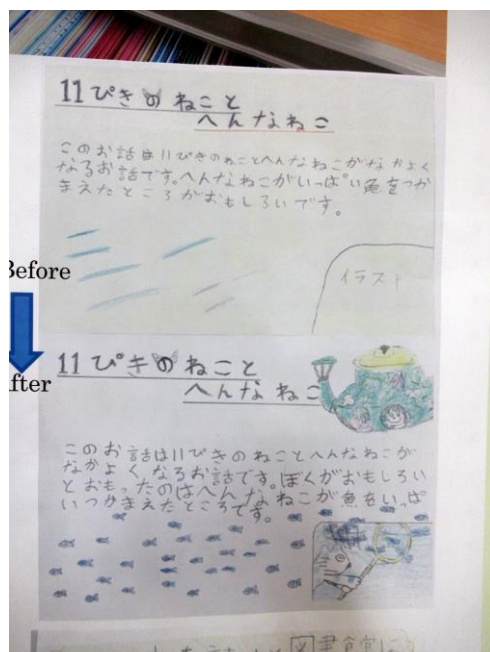
授業の様子は映像で



授業者の山田千裕教諭



質疑応答も盛り上がりました



掲示された下書きと完成の比較

児童は、既にPOP作りを先行単元で経験しており、その既習を生かして「物語文の魅力を伝えるPOP作り」を目指しました。本時では、下書きのPOPに工夫を凝らす視点を定めるために、POPコンクールの作品を元に、具体的にどのようなことをすればよいかが共有され、子どもたち一人ひとりが、自分に必要な工夫を見出し、それに向けて友達や先生と交流しながら真摯に活動に向き合う姿が見られました。完成されたPOPと下書きのビフォー・アフターや、学校図書館に設置されたPOPの様子も報告できたことは、録画授業ならではの利点でした。

<研究討議について>

研究大会の後半は、公開授業についての研究討議と、函館大会でも提言をした聖ミカエル幼稚園の石渡秀子主任教諭による、幼児教育における絵本を活用した活動の紹介が行われました。司会の佐藤広也先生によって、授業に関する質疑応答に留まらず、各校種における活動の交流にも話題が広がり、近年注視されている



助言者として井上絵里指導主事にも御参加いただきました。

「異種校間における学びの連続性」の重要性が再確認されることになりました。聖ミカエル幼稚園の活動紹介では、1冊の本を軸に、様々な形で絵本の世界に浸る活動を通年で繰り返し、発展させていくことで、子どもたちの中に「主体的」「意欲的」な生活を目指す姿勢が培われたという報告でした。また、子どもたちが、1冊の本を様々なスタイルで楽しんだり、主人公に寄り添ったり、自分と重ねたりするという展開の豊かさは、参会者にとって大きな学びとなったと思われます。



提言者の石渡秀子主任教諭

◆知っていますか……？ 『札幌市SLA オフィシャルホームページ』

札幌市学校図書館協議会では、公式HPで様々な情報を公開しています。活動の報告はもちろん、年次総会の資料や過去の読書感想文コンクールの入賞作品集も掲載されています。

さらに、学校図書館スタッフの皆さんには、「研修大会&実務研修会」のページで見ることができる過去の資料をオススメします！様々な校種の公開授業指導案や実践報告、図書館や読書に関わる皆さんの講演の報告などが詰まっています。



「もっと図書館と本の魅力を伝えたい！子どもにも大人にも図書館に来てほしい！」「公開授業で何か図書館を使いたいんだけど……。」「調べ学習がうまくいかなくて悩んでいます……。」「図書館の装飾や配置を工夫したいな……。」「新学習指導要領の『情報活用能力』や『教科等横断的な学習の充実』について何かヒントは無いか……？」などなど、日々お悩みの皆様、是非ご覧ください！！

【アドレス】 <http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/sapporo/>

「札幌SLA」で検索してもすぐに出てきます！

札幌市 SLA 通信は札幌市内の幼稚園・小学校・中学校・高等学校に送付しています。校長先生をはじめ学校図書館を活用している先生方・司書教諭・学校司書・学校図書館担当者・学校図書館スタッフの皆さままで回覧してください。